



2011年2月21日

各位

会 社 名:株式会社三菱ケミカルホールディングス  
代表者名:取締役社長 小林 喜光  
(コード番号:4188)  
問合せ先:広報・IR室長 高阪 肇  
TEL. 03-6414-4870

子会社の解散に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるヴィテック株式会社（本社：東京都港区、社長：梅葉 芳弘、以下「ヴィテック」）を解散することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

2009年5月7日にお知らせしましたとおり、当社連結子会社である三菱化学株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：小林 喜光、以下「三菱化学」）は、三菱化学と東亜合成株式会社（本社：東京都港区、社長：橋本 太、以下「東亜合成」）の出資会社であるヴィテックを通じて展開しておりました塩化ビニル樹脂、塩化ビニルモノマー及び電解製品（カ性ソーダ、塩素、電解水素等）に係わる事業（以下、「塩ビ事業」）から本年3月までに撤退することを決定しておりますが、この度、別添のとおり、同事業撤退後にヴィテックを解散することといたしました。尚、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

以上

2011年2月21日

ヴイテック株式会社の解散について

三菱化学株式会社

東亜合成株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光、以下「三菱化学」）及び東亜合成株式会社（本社：東京都港区、社長：橋本 太、以下「東亜合成」）は、塩化ビニル樹脂、塩化ビニルモノマー及び電解製品（カ性ソーダ、塩素、電解水素等）に係わる事業（以下、「塩ビ事業」）を手がける両社出資会社であるヴイテック株式会社（本社：東京都港区、社長：梅葉 芳弘、以下「ヴイテック」）について、本年3月の塩ビ事業撤退後、本年9月末を目標に解散することを決定いたしました。（解散の日程は、下記2の通りです）

三菱化学は、2009年5月7日付の発表のとおり、2011年3月末日までにこれまでヴイテックを通じて展開しておりました塩ビ事業から撤退することを決定しております。

一方、東亜合成は、2010年5月25日付の発表のとおり、2011年3月末日までにヴイテックから同社川崎工場の製造設備を引き取り、株式会社カネカ（本社：大阪府大阪市、社長：菅原 公一）からの塩化ビニル樹脂製造の受託に特化することを決定しております。

三菱化学と東亜合成は、ヴイテックを通じて展開しておりました塩ビ事業からの撤退決定後、同事業撤退以降のヴイテックのあり方について検討を重ねてまいりましたが、両社事業撤退により同社の役割は終えたとの判断からこの度同社の解散を決定いたしました。

記

1. ヴイテック社の概要

- (1) 社名            ヴイテック株式会社
- (2) 設立            2000年4月1日
- (3) 社長            梅葉 芳弘
- (4) 本社所在地    東京都港区
- (5) 資本金         60億円
- (6) 売上高         281億円（2009年12月期）
- (7) 出資比率       三菱化学株式会社 85.1%、東亜合成株式会社 14.9%
- (8) 従業員数      80人（2010年12月末）

2. 今後のスケジュール（予定）

- 2011年9月         ヴイテック株主総会にて解散決議
- 2011年12月        清算終了

以上

【本件に関する問合せ先】

- 三菱化学株式会社 広報室            TEL：03-6414-3730
- 東亜合成株式会社 IR広報室        TEL：03-3597-7250